



「人に優しい医療」への貢献

ディーブイエックス株式会社

株主通信

2021年3月期第2四半期報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

証券コード3079



代表取締役社長

柴崎 浩

株主の皆様へ

To Our Shareholders

新型コロナウイルスによる症例数減少の影響により、
減収、減益となりました。



当第2四半期累計期間の業績について新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえて、総括をお願いします。また、2021年3月期の業績予想についてもお話しください。



新型コロナウイルス感染症の感染拡大が大きな影響を及ぼし、当社の取引先である医療機関においても2020年4月以降待機的な治療など緊急性が低い治療について可能な限り延期するなどの対応がとられ症例数が減少しました。5月25日には緊急事態宣言が解除され6月以降症例数は回復傾向にはあり

ますが、医療機関への外来受診自粛や医療機関における新型コロナウイルス感染症の患者受け入れのための医療体制を維持する必要があるなどの理由により完全な回復には至っておらず、引き続き症例数減少の影響は続いております。

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う今後の影響が不透明であることから、2020年6月15日に公表した業績予想を据え置いております。

Q その他事業の外科、脳外科関連商品等が好調な販売のようですが、その商品や現場での使用方法について教えてください。

A まず、外科関連商品が好調な理由につきましては、「経カテーテル的大動脈弁置換術（以下、TAVI※という）」関連の伸長によるものです。

TAVIは大動脈弁狭窄症の新しい治療法であり、カテーテルを使用して患者の心臓に人工弁を留置する治療法です。開胸することがなく心臓も止める必要がないため、低侵襲で体への負担が少ないことが特徴です。今後も多くの海外メーカーが参入を控えており製品群が増加する為、症例が拡大していくものと思われます。

※Transcatheter Aortic Valve Implantationの略

また、脳外科関連商品が好調な理由につきましては、「脳動脈瘤コイル塞栓術」関連の伸長によるものです。コイル塞栓術は、カテーテルを通してコイルを脳動脈瘤の中に埋めこむことにより切らずに脳動脈瘤の破裂などを防ぐ治療法です。開頭する必要がないため、低侵襲で体への負担が少なく、開頭術の難しい場所でも治療できる場合があることが特徴です。

Q 社内における新型コロナ感染者の発生及び対応についてお話しください。感染の発生に備えて策定したBCP※対策についても教えてください。

※BCPとはBusiness Continuity Planの略、事業継続計画の意味

A すすでにお知らせしましたとおり、2020年7月に感染者が1名発生いたしましたが、営業所の閉鎖には至っておらず、引き続き感染防止策を継続し、社員やお取引先の安全を最優先に業務を行っております。

具体的感染防止策として、手洗い、うがい、三密回避、テレワークの導入、必要な備品の配備や健康管理の徹底をはじめとした対策を実施しており、併せて、感染時に医療材料の供給を途切れさせないよう、営業所の閉鎖も想定したバックアップ体制の準備等を含む対応計画を定め、これまで得られた教訓も活かして改善を重ねております。

今後も感染リスクを軽減するためのあらゆる対策を講じてまいります。

Q 心臓血管インターベンション治療などで実施される血管造影を行う際の造影剤自動注入装置「RAQUOSインジェクションシステム」が国内において薬事承認を取得されました。その取得による今後の業績に与える影響についてお話しください。

A 当社は2017年5月に自動造影剤注入装置「ACIST」の契約終了以降、国内企業と協力し、日本製造造影剤自動注入装置の開発を行ってまいりました。今回取得した認証につきましてはインジェクションシステム本体のみであるため、現時点で本体のみの販売は行いません。当社は引き続き、関連消耗品の認証取得および本システムの販売に向けた取り組みを継続するとともに、今

後も「人にやさしい医療」の実践のため、医療業界のニーズに対し、創造的ソリューションを提供することで社会に貢献して参ります。

Q 2020年5月に開設した「高知出張所」の目的についてお話しください。

A 従来、四国エリアへの営業活動については、大阪、福山、福岡から出張にて対応しておりましたが、顧客満足度の向上と業務の機動性を図るとともに、効率のかつ戦略的な営業活動を展開できる組織体制とするため当社の拠点空白地域である四国エリアに高知出張所を開設いたしました。

Q 2020年6月に「技術研究所」を移転しましたが、その理由についてお話しください。

A 主として開発を行っていた「RAQUOSインジェクションシステム」の開発に目処が立ち、薬事認証取得など関係組織間のアクセスを向上させ、開発プロセスの効率化と開発体制の強化を図るため、本社内に移転いたしました。

Q 2020年6月に役員退職慰労金制度を廃止されました。その理由、制度廃止による打ち切り支給、業績に与える影響などについてお話しください。

A 誠実で透明性のある経営体制を構築、維持し、企業価値を継続的に高める事を目的とし、2020年5月15日に「役員報酬方針に関するお知らせ」として公表しております役員報酬体系の見直しの一環として、年功的要素および報酬の後払い的要素が強かった役員退職慰労金を廃止いたしました。

制度廃止に伴い、当社の役員退職慰労金内規に基づき計算された金額を打ち切り支給することとしておりますが、支給時期は退任時としております。

なお、従来から支給に備え、内規に基づき期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上しておりましたので、業績に与える影響は軽微であります。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 当社は、今後の事業展開のために必要な内部留保資金を確保しつつ、株主の皆様に対して長期的な利益還元を行うことを基本方針としております。

2021年3月期の業績はコロナ禍により厳しい状況になることが見込まれますが、上記方針のもと従来からの安定配当方針の継続を踏まえ、1株当たり24円（配当性向72.4%）を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも末永いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ミッション(企業理念)

- 私たちは、医療業界で患者・医師・医療関係者のニーズを絶え間なく追求し、創造的なソリューションを提供する事で、社会に貢献する集団です。
- 目標に向かって個々の力を最大限に発揮する『心』ある社員により集団を結成し、確かな未来を見据え、目的意識を明確に保持し、変化に対応する新しい企業です。

Front Line

「RAQUOS(ラクオス)インジェクションシステム」薬事認証取得

2020年10月1日に「RAQUOS(ラクオス)インジェクションシステム」(以下、本システム)の薬事認証を取得いたしました。

本システムは、国内企業と協力して開発した日本製の造影剤自動注入装置です。

心臓血管インターベンション治療など血管造影を行う際の造影剤注入装置で、医療現場のニーズを取り入れた操作性の向上と、少量から大量まで正確に造影剤を注入することを実現しました。

また、本システムを使用することで、複数症例での連続使用、造影剤の自動充填や自動エア抜き機能などにより、手技時間の短縮や放射線被曝の低減、造影剤使用量の削減が期待されます。

本体

血管造影手技を優しくサポートすべく、使いやすさと高機能を徹底追求しました。



全体

RAQUOSインジェクションシステム
多相電動式造影剤注入装置

認証番号: 302ADBZX00087000

管理医療機器・設置管理医療機器・特定保守管理医療機器

※本機のデザインはイメージCGのため変更になる場合があります。



コントロールパネル

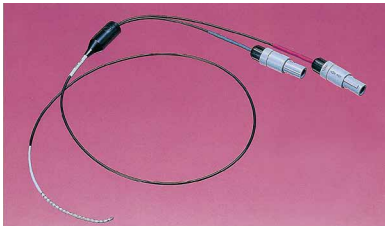
視覚的でユーザーフレンドリーな操作が可能です。
コントロールパネルのほか、本体パネルやリモートコントロールパネルでも操作が可能です。

事業セグメントの状況

不整脈事業 Arrhythmia Business

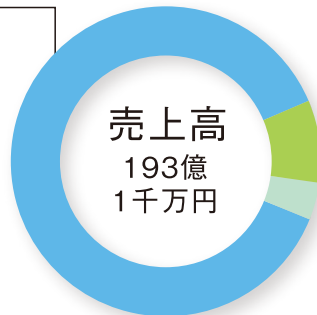
当第2四半期累計期間実績
売上高165億5千4百万円

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、医療機関において待機的な治療など緊急性が低い治療については可能な限り延期したことや患者の受診自粛などにより症例数が減少したことから、当第2四半期累計期間の売上高は165億5千4百万円（前年同期比14.4%減）、セグメント利益は17億5千1百万円（同17.6%減）となりました。



電極カテーテル

不整脈の診断や薬効評価に欠かせない心臓電気生理検査用カテーテル、およびアブレーション（焼灼）治療用カテーテルなどがあります。



事業セグメント別売上高構成比

不整脈事業	85.7%
虚血事業	8.1%
その他	6.2%

*「その他」においては、脳外科商品、一般外科商品、消化器商品、放射線防護用品などを販売しております。

虚血事業 Ischemia Business

当第2四半期累計期間実績
売上高15億6千5百万円

新型コロナウイルス感染症の影響により医療機関における症例数が減少したことに加え、感染拡大防止のため総代理店として取り扱っている商品については、医療機関への訪問など営業活動を自粛したことから、当第2四半期累計期間の売上高は15億6千5百万円（前年同期比17.8%減）、セグメント利益は3億4千万円（同7.9%減）となりました。



エキシマレーザ血管形成システム

現在日本国内においてエキシマレーザによる治療は「心内リード除去術」「冠動脈形成術」「末梢血管形成術」の3つに適用が認められています。

営業の概況

Operating Results

2019年10月の消費税増税時の改定に続き、2020年4月にも特定保険医療材料の保険償還価格の改定が実施され、当社が取扱う商品の保険償還価格引き下げが実施されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響のほか、引き続き医療機関からは経営環境改善のための値下げ要請、仕入先メーカーからは値上げ要請があるなど厳しい環境にありましたが、感染リスクを軽減するためのあらゆる対策を講じ、医療の安全、安心のために安定して商品を生供給し続けることを使命とし企業活動を行ってまいりました。

2021年3月期（通期）の業績予想

Outlook

2020年6月15日公表の通期業績予想を据え置いております。

2020年6月15日公表の2021年3月期第2四半期（累計）の業績予想に対し、当該期間における新型コロナウイルスの影響が当初想定よりも小さかったこと、また、営業活動制限による旅費交通費の削減や経費節減努力のほか、研究開発費など一部の販売費及び一般管理費の経費予算の執行遅れが生じたことにより、営業利益以下各段階利益が当初想定より上回る結果となっておりますが、執行が遅れている経費の発生を見込むほか、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う今後の影響が今なお不透明であることから、2021年3月期通期の業績は公表通りに着地すると見込んでおります。

2021年3月期の業績予想

（百万円）	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2021年3月期	41,886	515	514	341
2020年3月期（実績）	44,653	1,115	1,123	792
増減率（%）	△6.2	△53.8	△54.2	△56.9

当社に関する詳しい情報は、ホームページでご覧ください。

<http://www.dvx.jp/ir/index.html>

最新のIR情報を掲載しています。

dvx

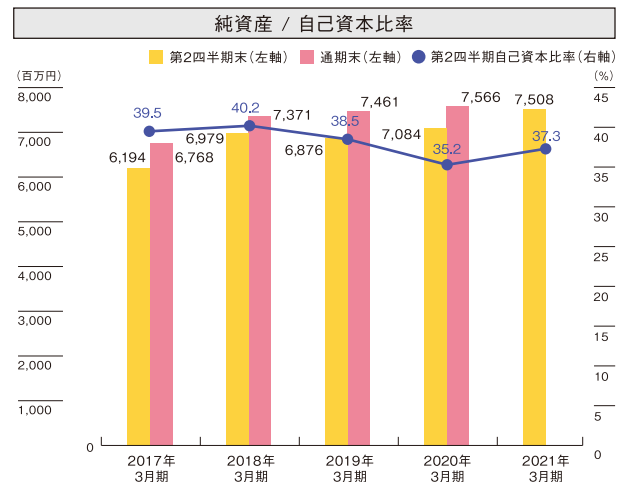
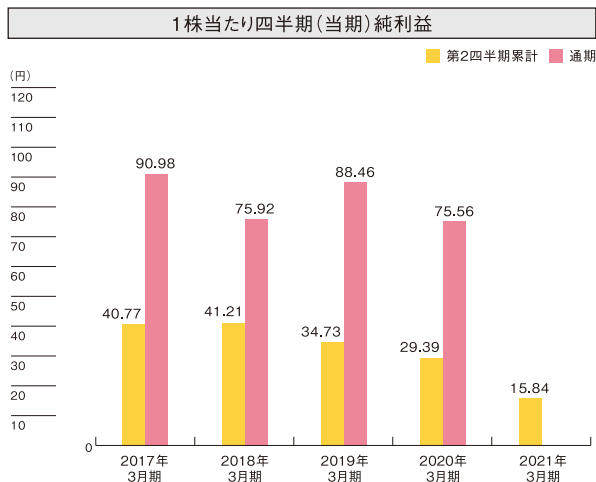
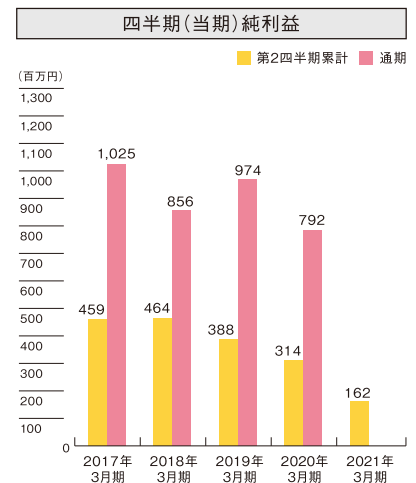
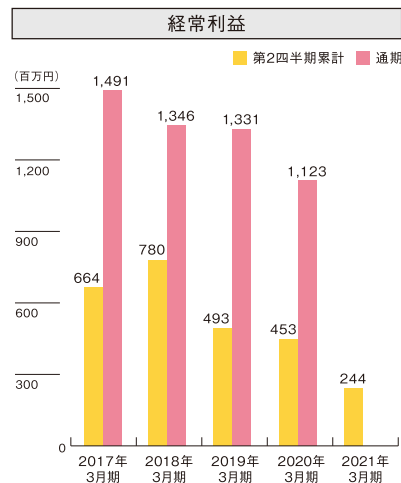
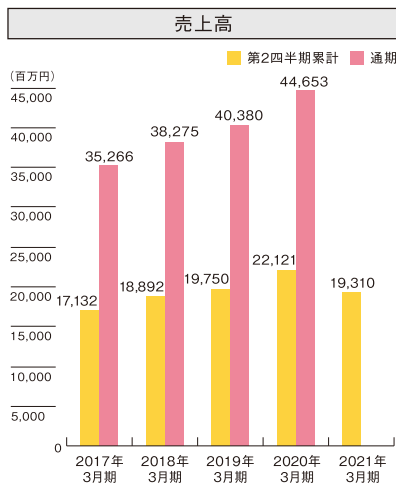
検索

財務ハイライト (2020年4月1日～9月30日)

当第2四半期決算のポイント

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により
症例数が減少し、前年同期比減収、減益となりました。

当第2四半期累計期間の売上高は193億1千万円(前年同期比12.7%減)、営業利益は2億4千5百万円(同45.1%減)、経常利益は2億4千4百万円(同46.1%減)、四半期純利益は1億6千2百万円(同48.1%減)となりました。



ポイントの解説

1 売上高

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛要請に伴い患者の外来受診など医療機関への来院数の減少や、医療機関が待機的な治療など緊急性が低い治療について可能な限り延期したことにより症例数が減少したことから、当第2四半期累計期間における売上高は、前年同期と比較して12.7%減少し193億1千万円となりました。

2 営業利益

売上総利益で前年同期比14.4%減少、販売費及び一般管理費は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による移動制限や営業活動を自粛したことによる旅費交通費の削減や経費節減努力のほか研究開発費など一部の経費予算の執行が遅れたことから、前年同期比8.1%減少し、当第2四半期累計期間における営業利益は、前年同期と比較して45.1%減少し2億4千5百万円となりました。

インフォメーション

会社の概要 (2020年9月30日現在)

商号	ディービーエックス株式会社 (DVx Inc.)		
設立	1986年4月1日(昭和61年4月1日)		
資本金	3億4千4百万円		
本社所在地	東京都豊島区高田2-17-22 目白中野ビル5階		
代表者	代表取締役社長 柴崎 浩		
従業員数	335名		
事業内容	医療用機器ならびに関連周辺機器の輸出入および製造販売業、修理業、リース業 医療用機器ならびに関連周辺機器の研究・開発 医療および医療用機器全般のコンサルティング業務ならびにサービスの内外提供 医療出版および市場調査を含む関連サービスの内外提供		
営業所	北海道営業所 仙台営業所 埼玉営業所 八王子営業所 沼津営業所 大阪営業所 広島営業所	茨城営業所 千葉営業所 横浜営業所 浜松営業所 福井営業所 福山営業所	群馬営業所 東京営業所 静岡営業所 名古屋営業所 京都営業所 九州営業所
出張所	山梨出張所 宮崎出張所 栃木出張所 長野出張所	島根出張所 高知出張所 沖縄出張所	

役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長	柴崎 浩	取締役(社外)	村松 光春
取締役	鍋谷 正行	取締役(社外)	堂垣内 重晴
取締役	平能 直弘	取締役監査等委員	戸田 幸子
取締役	宮本 聡	取締役監査等委員(社外)	中村 真一
取締役	東 俊彦	取締役監査等委員(社外)	野島 透

大株主 (上位7名) (2020年9月30日現在)

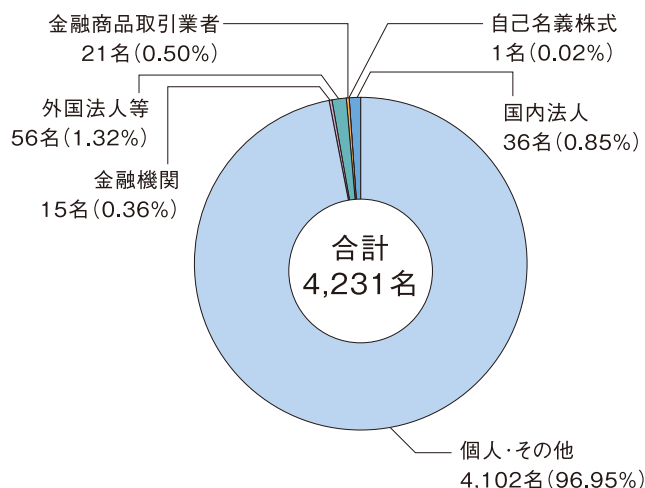
株主名	持株数	持株比率
株式会社MSS	3,404,600株	33.05%
光通信 株式会社	662,500株	6.43%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	661,135株	6.42%
若林 稲美	322,000株	3.13%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	278,900株	2.71%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	275,200株	2.67%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	180,000株	1.75%

(注) 持株比率は、自己株式(977,344株)を控除して計算しております。

株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	11,280,000株
株主数	4,231名

所有者別株式分布状況 (2020年9月30日現在)



株主メモ (2020年9月30日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711(通話料無料)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.dvx.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。